

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表:2024年3月1日

事業所名 えがお浪速区店

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		フロアを区切って遊ぶ内容によってわかれている。 最低限の活動が出来るスペースは確保し、活動や状態に合わせて部屋を分ける等行っている。	室内に仕切るものがないため、カーテン等で仕切る工夫を行う予定。
	2	職員の配置数は適切である	8		基準人数は確保できている、個別支援に充足するための職員数は不足しているよう感じる。	都度、人員の補充を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	2	可視化や器具の整理が必要。 小さな子どもが自分で手洗いへ行けるよう、段差をなくし、スロープにしている。	できる限りのバリアフリー化を行っている。今後も使いやすい、わかりやすいように設備を整える。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	2	衛生管理の徹底活動によっては狭い時がある。 毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境に気を付けています。冬場は加湿器を設置。	引き続き衛生管理を徹底する。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	4	振り返りの時間を作る工夫が必要。	日々の業務のスケジュール管理等を行い、PDCAサイクルがしやすい環境づくりを行う。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	アンケート実施後の改善が必要。	アンケート実施後の意見を基に業務改善を行う。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	2	昨年度も公開し今年度も予定。 わからない。	昨年同様、HPで公表する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2		第三者評価を行っていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1	定期的な社内研修の開催を行っている	必須の研修とともにスキルアップのための研修を積極的に行う。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		児童支援管理責任者を中心に職員間でしっかり情報提供を行い作成している。	毎週決められた曜日にカンファレンスを行っている。今後も引き続き行う。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2		アセスメントシートが使いやすいようにするため、今後も改善していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	1		2024年度の法改正に伴い、それぞれより具体的に計画をたてるように、今後、保護者と話し合い、具体的な支援内容を立案する。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		児童発達支援計画に沿った支援を行っている。	引き続き計画に沿った支援を行う。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者との連携	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	4		実績はないが、今後そのような機会があれば積極的に取り組んでいく。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	5	3	積極的に参加するようにしている。(部会など)	引き続き区役所主催の子ども部会等へ参加していく。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1	ご家族の方と状況を伝えあい共通理解をもてるよう努めている。	送迎時含め、様々な場面で状況の説明や課題等について話し合いを行っていく。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	4	トレーニングとしては行っていないが、送迎時などの他愛ない会話の中で伝えている。	令和6年度において、家族支援プログラム計画中。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	契約時に説明している。	今後も、契約時に丁寧に説明していく。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	1	面談時に支援計画について、丁寧な説明を心がけ、保護者の方に理解していただいた上同意を得ています。	今後も、契約時に丁寧に説明していく。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	相談があった際は必要に応じて個別に対応しています。	その都度相談を受け付け、対応していく。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7		親子イベントを企画することでその機会を設ける。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		随時対応している。	その都度相談を受け付け、対応していく。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		毎月お便りを発行し、行事等知らせている。	今後もお手紙等を配布し情報を発信していく。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	8		個人情報に記載されている書類は、事業所にて保管している。	今後も情報の漏洩がないように徹底していく。
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		子どもの特性など把握した上で配慮している。	特性に応じた対応をしていく。
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	4	近くの駅や、駄菓子屋に協力してもらい、行事イベントを実施している。	今後も近隣の住民、施設に協力を求めていく。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	2	マニュアル作成し、職員間で周知し、保護者には、手紙を配布している。	法定通りの訓練と、必要があれば様々な訓練等を今後行う。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	3	定期的に避難訓練を行っている。	法定通りの訓練と、必要があれば様々な訓練等を今後行う。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8		利用時に確認している。	アセスメントの際に情報を得るようにする。また、変化があればその都度情報を共有する。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	4	おやつ時にアレルギーの有無確認をし、ご家族にも確認し、同意をいただくようにしている。指示書はわからない。	アセスメントの段階でアレルギーについて情報を得るようにし、医師の指示書等を提出してもらうようにする。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	3	共有し再発防止に努めている。	ヒヤリハットがあれば即記入するという流れをより強く周知していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		定期的、研修を行い対応している。	定期的に研修を行う。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	2	対象者無し 身体拘束に関しては、職員間での周知、研修を行っています。	定期的に研修を行う。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。